

PETAL

知識の花弁

No.15



学生が紹介したい、本。

今号から『知識の花弁』メンバーに新しく学生3人が仲間入り！そんな学生編集員たちが紹介したい本がこちら。

色彩を持たない多崎つくると彼の巡礼の年

村上春樹 / 文藝春秋



村上春樹の『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』という本を紹介したい。本書は「誤った認識と自己完結からの脱却」がテーマになっている。主人公である多崎つくるとその周りの人間との間で起こる出来事を、自分だけの解釈で盲目的に捉えている。自分以外の人間は鮮やかな色彩を持っているのに対し、自分は色彩を持たないと思い込み、それに対して何の疑いも持っていない。多崎つくるとは36歳になり、彼女からの勧めもあり高校時代に心に負った傷について、その原因になった4人のグループを訪れ巡礼することになる。しかし、それは当時の出来事の真実の解明には役立ったが、本当の問題である多崎つくるとの「誤った認識と自己完結」の癖について内省することはない。物語も結末までは書かれることなく、最終的に多崎つくるとがどうなったかはわからないが、「誤った認識と自己完結からの脱却」はなされなかったと考えられる。現在大学生でこれから自分の進路を決めていく中でこの本は私に忠告をしたように感じた。多崎つくるとは16年経ってから自分の傷について向き合うことを始めた。しかし問題は自分の内部に存在し、それに対し何のアプローチもしていない。そんな多崎つくるとを反面教師にこれからの人生を歩んでいこうと思った。(経済学部3年・S)



思いわずらうことなく 愉しく生きよ

江國香織 / 光文社

「人はみないずれ死ぬのだから、そして、それがいつなのかはわからないのだから、思いわずらうことなく愉しく生きよ」を家訓としている、犬山家に生まれた三姉妹の話。長女の麻子は唯一の既婚者ながら、夫から暴力を振るわれている。次女の治子は結婚に意味を見出せない、アメリカ帰りのキャリアウーマン。三女の育子は自動車教習所の事務をしており、「生きるとは何か」と毎日日記を書いている。そんな三人のまわりでうごめく、家族や恋愛を描いた物語。作者の江國香織さんは、この作品について「健全さとはなにか、をめぐる物語だ」と言う。三姉妹は三者三様に突飛で、たとえば麻子は夫に忠実なあまり暴力を許容しているし、治子は結婚したくなくて同棲している男性からのプロポーズを3度も断っている。だが一風変わった考えを持つ彼女たちも、見方を変えると「夫に献身的である」とか「自分を大切にすると」か、いわゆる「健全な」人々であるようにも見えてくる。「普通」とか「健全」とか、生きているといろいろなレッテルがあって、私たちはそれに囚われていることがまます。だが、それらがすべてばかばかしく感じるほど爽やかなラストに、「愉しく生きよう」と思わせられる作品。(文学部4年・M)

火の鳥

手塚治虫 / 朝日新聞出版



最近読んだマンガを紹介したい。ワンピースや進撃の巨人など、今まさに流行っているものは読んだが、いわゆる名作と呼ばれるものはほとんど読んだことがなかった。現在のマンガ文化の礎を作った作品に触れたいと思い、物色していたところ、ある一冊を見つけた。それが手塚治虫大先生が30年の月日をかけて完成させた超大作、「火の鳥」。その一作目の黎明編を読むことにした。生と死がテーマになったこの作品は、読み進めていくと人間の醜さ、美しさが浮き彫りになっていく。かといって決して重いだけではなく、ストーリーの各所にユーモアに溢れた「遊び」が散りばめられている。一回読んで得た感想は、これぐらいだった。それでも手塚治虫が長い時間をかけて完成させた作品なんだから、もっと深いメッセージがあるに違いない。細かい描写や台詞にも注目してみたいと思わされた。「火の鳥」読後、気になったワンシーンがあり、答え合わせをするようにワンピースを読んでみた。すると瓜二つの表現を見つけてしまい、思わずニヤついてしまった。現在のヒット作にも多大なる影響を与えたこの人はやはり「マンガの神様」だと改めて実感した。(商学部4年・C)

私たちが紹介したい、本。

ついに夏休み…ということで、時間のある夏休みにぜひ読んで欲しい本をご紹介します。
新しくメディアセンターの所長に就任された須田先生をはじめ、学生たちのおすすりも要チェックです！



オハイオ州立大学のマスコット Brutus Buckeye と

三田メディアセンター所長 須田伸一先生

(経済学部教授)

今年4月からメディアセンター所長に就任しました。1980年に経済学部に入學し、慶應義塾図書館（当時は新図書館と呼んでいました）が開館した1982年に私も三田キャンパスでの学生生活を始めたので、三田の図書館にはそれ以来ずっとお世話になっています。もちろん、当時は電子書籍、電子ジャーナルは存在せず、図書館の蔵書は冊子体の図書と雑誌が中心でした。それでも、メディアセンターが慶應義塾大学における学習・教育・研究・医療活動を支援し、学術情報を後世に伝えることを使命としている点は、当時と現在で変わっていません。

新所長が紹介したい、本。



『書物の破壊の世界史』

フェルナンド・バエス（八重樫克彦、八重樫由貴子訳） / 紀伊國屋書店

「この「学術情報を後世に伝える」ことの困難さを教えてくれるのが、フェルナンド・バエスの『書物の破壊の世界史』（紀伊國屋書店）です。そこには人類初の書物（粘土板文書）が登場した時代から現在に至るまでの、書物の破壊の歴史が延々とつづられています。本書で明らかになるのは、自分と違う考えを持つ人の言説を抹殺したいという欲望の普遍性にほかなりません。

一方、これだけの書物の破壊にもかかわらず、図書館の本棚にプラトン全集やキケロ著作集といったギリシア・ローマの古典が数多く並んでいるのもまた事実です。レイノルズとウィルソンの『古典の継承者たち』（国文社）には、これら西洋古典作品の伝承過程が詳しく説明されています。その中に「古典のテキストが失われた主な理由のひとつは、ほとんど疑いの余地なく、大部分のキリスト教徒が古典のテキストを読むことに興味がなく、それゆえ戦争と破壊の時代にもテキストが確実に生き延びるのに十分なだけの新しい写しが作られなかったことなのである」という一節があります。

写本からデジタル情報へと情報伝達手段が変わっても、人々の書物を読む行為が、学術情報を後世に伝える際に中心的な役割を果たすことは変わらないでしょう。皆さんには、このことを忘れずに、大学図書館をどんどん利用してもらいたいと思っています。

一方、これだけの書物の破壊にもかかわらず、図書館の本棚にプラトン全集やキケロ著作集といったギリシア・ローマの古典が数多く並んでいるのもまた事実です。レイノルズとウィルソンの『古典の継承者たち』（国文社）には、これら西洋古典作品の伝承過程が詳しく説明されています。その中に「古典のテキストが失われた主な理由のひとつは、ほとんど疑いの余地なく、大部分のキリスト教徒が古典のテキストを読むことに興味がなく、それゆえ戦争と破壊の時代にもテキストが確実に生き延びるのに十分なだけの新しい写しが作られなかったことなのである」という一節があります。

一方、これだけの書物の破壊にもかかわらず、図書館の本棚にプラトン全集やキケロ著作集といったギリシア・ローマの古典が数多く並んでいるのもまた事実です。レイノルズとウィルソンの『古典の継承者たち』（国文社）には、これら西洋古典作品の伝承過程が詳しく説明されています。その中に「古典のテキストが失われた主な理由のひとつは、ほとんど疑いの余地なく、大部分のキリスト教徒が古典のテキストを読むことに興味がなく、それゆえ戦争と破壊の時代にもテキストが確実に生き延びるのに十分なだけの新しい写しが作られなかったことなのである」という一節があります。



『古典の継承者たち』

L.D. レイノルズ、N.G. ウィルソン（西村賀子、吉武純夫訳） / 国文社

Recommend

羊皮紙を作ろう

下ごしらえ

まずは牧場から皮を取り寄せます。これはお肉を食べた後に残る皮を利用します。今も昔も、羊皮紙を作るためだけに動物の命を奪うことはありません。牧場としても肉を売らないとビジネスにならないことが理由の一つです。

皮にはフンやゴミや虫など様々な汚れがたくさんついていますので、水でよく洗います。油汚れに強い台所洗剤を使うと便利です。

運動場のライン引きで使う「消石灰」を水の重さに対して10%加えた石灰水に皮を約10日浸しておきます。アルカリ性溶液で皮の表面の毛穴がゆるみ、簡単に毛が抜けるようになります。石灰は底に沈むので、定期的にかき混ぜましょう。



脱毛と肉削ぎ

石灰水から皮を取り出して、ホームセンターに売っている太目の水道管にかけ、日本刀のようなナイフで毛を抜いていきます。剃るというより押し抜く感じ。石灰処理中に腐敗したものが羊毛に染み込んでいるため、すっぱいニオイと重い臭いが入り混じった香りが鼻を突きます。

脱毛したら裏返して肉と脂を削ぎます。夕食になるくらいの分量の肉と脂が削げます。

木枠に張って、仕上げ

毛と肉と脂を除去した皮を、木枠に張ります。皮の縁に小石をくるんでヒモを巻き付けます。そのヒモを木枠の取っ手に結び付け、取っ手を回すとヒモが巻き取られます。大体80kgくらいのテンションをかけて太鼓の皮のようにきつく伸ばします。

「半月刀」といわれる半月形のナイフを直角に皮に押し当てて上下に動かし皮に染み込んでいる石灰水や脂を絞り出します。また、残っている毛や肉などもそぎ落として、コラーゲン線維のみにしていきます。最後に、軽石で表面をゴシゴシすって滑らかにします。さらに水で濡らした布でさっと拭いて、毛羽立ちを抑え、筆写に適した表面を作ります。きれいに仕上げないと羽ペンで安定した文字が書けないため、最後は大変繊細な仕上げが要求されます。



図書館には、中世ヨーロッパの彩飾写本が数多く所蔵されています。そのきらびやかな装飾や緻密な手書き文字に魅了されますが、その紙を見るとところどころにヒゲ剃り痕のような毛穴が見えることも。実はこれは普通の紙ではなく、羊や山羊、仔牛などの皮からできた「羊皮紙」なのです。

ここでは、毛むくじゃらで脂だらけの分厚い動物の皮が、薄く繊細な「紙」となるまでの工程をご紹介します。一頭分が完成するまで約1か月。そこから採れる用紙はA4サイズ4～6枚。中世の「紙」がどれほど手間がかかって高級なのか、お解りいただければと思います。



羊皮紙とは？



- 前2世紀頃 ペルガモンで羊皮紙誕生
- 4世紀頃 パピルスより羊皮紙が主流に
- 11世紀 ヨーロッパに植物紙伝来
- 15世紀 印刷術開発で羊皮紙衰退加速
- 現在 イギリス王室などで現役活躍中

ハリーポッターの魔法学校で使われるノート、ゲームに出てくる宝の地図など、ファンタジーや冒険モノでは欠かせないアイテム「羊皮紙」。私たち現代日本人からすると遠い世界のものですが、中世ヨーロッパではごく一般的に使われていました。普通の紙は植物線維を細かくしてシート状に絡めていますが、羊皮紙は毛だらけの分厚い動物の皮をひたすら薄くしたものです。手触りは現代の紙とそれほど変わらず、鉛筆でもボールペンでも普通に書けます。でも、羊皮紙の時代にはボールペンなどありません。使われたのは羽ペンです。当時の本は、文字を書くごとに羽ペンをインクに付けて職人が丹精込めて書きあげた芸術品。書き間違えたらナイフで削ります。インクのにじみを防ぐために白い絵具でコーティングしてある「塗工羊皮紙」も一般的でした。中世末期、植物紙の普及と印刷術の開発で羊皮紙は廃れましたが、なんと今でもバチカンやイギリス王室、そしてユダヤ教の世界では現役で使用されているんですよ。

執筆者紹介：八木健治さん

「羊皮紙工房」(日吉キャンパスから自転車で10分)を主宰。中世の羊皮紙作りの専門家で、羊皮紙の販売や展示のほか、講座やワークショップを行っています。
羊皮紙工房 <https://www.youhishi.com/>

2019年10月6日 慶應義塾図書館貴重書展示会(丸善 丸の内本店)で
ワークショップ開催予定!



記憶に残るレファレンス質問
～日本初の天気予報イラスト～

Q。

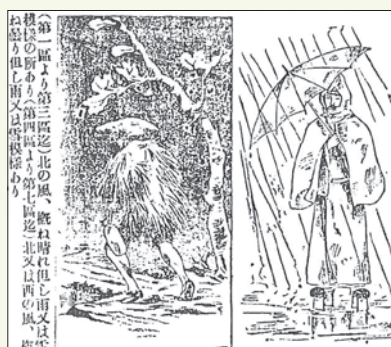
明治26(1893)年1月から始まった「時事新報」の
天気予報のイラストにはどんなものがありましたか？

明治26年1-2月の「時事新報」を確認したところ、
以下のようなイラストがありました。時事新報は
縮刷版またはマイクロフィルムでご覧いただけます。

A。

これは晴れです。1月の半分はこのイラストでした。

雨や雪の日もありました。雪のイラストはややレアです。



これはどんな天気だと思いますか？

このイラストはかなりレアです。



解説 なぜ天気の問題？

これは、福澤先生が創刊した日刊新聞である「時事新報」に関するテレビ局からの質問です。

「時事新報」に関するテレビ局からの質問は、天気関係が多いです。なぜなら「時事新報」は明治21(1888)年3月23日、日本で最初に天気予報を載せた新聞だからです。明治17(1884)年に初めて東京気象台から毎日の天気予報が開始され、「時事新報」は他紙に先駆けて予報を掲載しましたが、当時はなかなか庶民になじみませんでした。そこで明治26(1893)年元旦から、イラスト入りの天気予報を始めたところ、これが大好評となりました。今では「時事新報」に掲載された晴れや雨を表すイラストが天気予報マークの元祖と言われています。ちなみにこのイラスト、いわゆる今の天気予報マークとはかなり違います。

図書館システムが変わります

8月26日までに消えてしまうデータの保存をしてください

2019年9月、メディアセンターでは、早稲田大学との共同運用に向け図書館システムの入替えを予定しています。これに伴い「KOSMOS」や「My Library」の画面が新しくなります。慶應義塾大学の各メディアセンターが所蔵する図書、雑誌、電子資料に加え、早稲田大学図書館の所蔵資料、世界の学術情報（論文・記事）を検索することが可能となります。

ご注意

- ・現在ご利用いただいている「貸出履歴」や「My Shelf」、「予約・取寄」のデータは、消えてしまいます。事前に「リストの保存/E-mail送信」ボタンを利用し、ダウンロードしてください。
- ・新しいシステムで改めて予約・取寄せ（リクエスト）をしてください。なお、移行前に取置きが済んでいる資料には影響ありません。

その他、貸出規則や開館スケジュールが変更になります。
ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

詳細は以下ウェブサイトよりご確認ください。
→ <https://libguides.lib.keio.ac.jp/notice>

第31回 慶應義塾図書館貴重書展示会 「究極の質感—西洋中世写本の輝き—」 マテリアリティ

羊皮紙に羽ペン、仄暗い修道院と写字生たち…。映画などで目にする昔の本のイメージはこんな感じでしょうか？ ヨーロッパ中世を通じ千年近くの歴史を誇る手書き写本は、華麗な装飾性と実用性をあわせもつ書物文化を作り上げました。

今回は慶應義塾図書館の中世写本コレクションから、代表的な約100点を展示します。手書き写本ならではの彩飾美、ページレイアウトの工夫、流麗な書体など、書物が持つマテリアリティ（ものとしての立体的な物質性）にご注目ください。

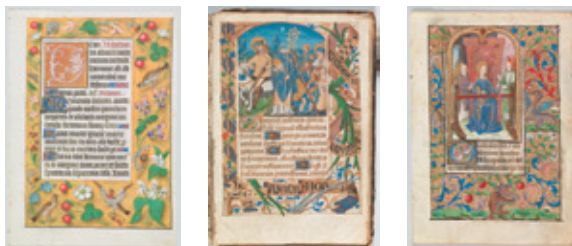
会期中はギャラリートークや講演会の他、羊皮紙を使ったワークショップも開催します。
ご来場をお待ちしております！

会期：10/2(水)～10/8(火) [入場無料]

会場：丸善 丸の内本店4階ギャラリー

ギャラリートーク：10/4(金)、10/6(日) 講演会：10/5(土)、10/6(日)

ワークショップ：10/5(土)



PETAL

2019 SUMMER



編集・発行／慶應義塾大学 三田メディアセンター <http://www.mita.lib.keio.ac.jp>
発行日／2019年8月1日 印刷／有限会社 梅沢印刷所